



World Supersport Championship round - 13 Losail International Circuit November 4

大久保光一予戦 21 番手 決勝リタイヤ 総合ランキング 15 位

World Supersport Championship (WSS) 第 13 戦はカタール、ロサイル・インターナショナル・サーキットで行われました。大久保光は、来季イタリアに本拠を置くカワサキ・プセッティにすることが決まり、11 月 4 日決勝日に正式発表しました。このチームは WSS チャンピオンを輩出している実績あるチームで、来季はカワサキのオフィシャルチームに格上げされる予定で、更にチーム力がアップされるはずで、ここのナンバー 2 として大久保はオフォーを受けチーム入りを決めました。

ロサイル・インターナショナル・サーキットでの自己ベストを 1 秒近くも更新する走りで、13 番手タイムを叩き出した大久保は、スーパーポールに進出しますが、アタック終盤で、転倒しそうになったことで、タイム更新出来ずに 21 番手となってしまいます。

予選でクラッチの不調を感じていたことから決勝に向けて、クラッチを交換して、決勝朝のフリー走行に挑み感触を確認しグリッドにつきますが、決勝グリッドに着く前のサイティングで再び不調を感じます。グリッドではクラッチ交換が出来ず、メカニックは「冷やされれば復活するから」と語ります。大久保はクラッチに不安を抱えながらスタートを切ります。1 速から 4 速に入れるとクラッチが滑ってしまいます。5 速から 6 速の高速では、その症状が治まるために、大久保は、それに合わせたライディングで周回を重ねました。ですが、マシンの方が、ついてこられずに、エンジンがストップしてしまいました。最終的にリタイヤとなり、総合ランキングを 15 位でシーズンを終えることになりました。

「ホンダのマシンで、全日本ロードレース選手権ではチャンピオンを取り、アジアドリームカップでも初年度のチャンピオンになり、念願だった WSS でもホンダで走れたことを感謝しています。

今大会はホンダでの最後のレースでもあり、最高の結果を残したいと挑みましたが、今回も、トラブルで思うように走ることが出来ませんでした。目指していたランキング 10 位へも届かずに終わることになってしまいました。今季の前半戦はレベルアップした走りが出来ていたように思いますが、後半戦はチームとのコミュニケーションがうまく行かず、トラブルが続きました。

今は、これからへ目を向けて気持ちを切り替えようとしています。12 月の上旬にはスペインのアルベリアというサーキットで 4 日間のテストが始まります。

今季、納得するシーズンにすることが出来なかったことを糧に、来季はしっかりと結果を残せるシーズンにします。今シーズンも、変わることなく応援して頂きありがとうございました。来年もよろしくお祈りします」

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

